

「外国人雇用状況」の届出状況まとめ (令和7年10月末時点)

2026.01.30

埼玉労働局は、2025年10月末時点の県内外国人雇用状況を公表した。

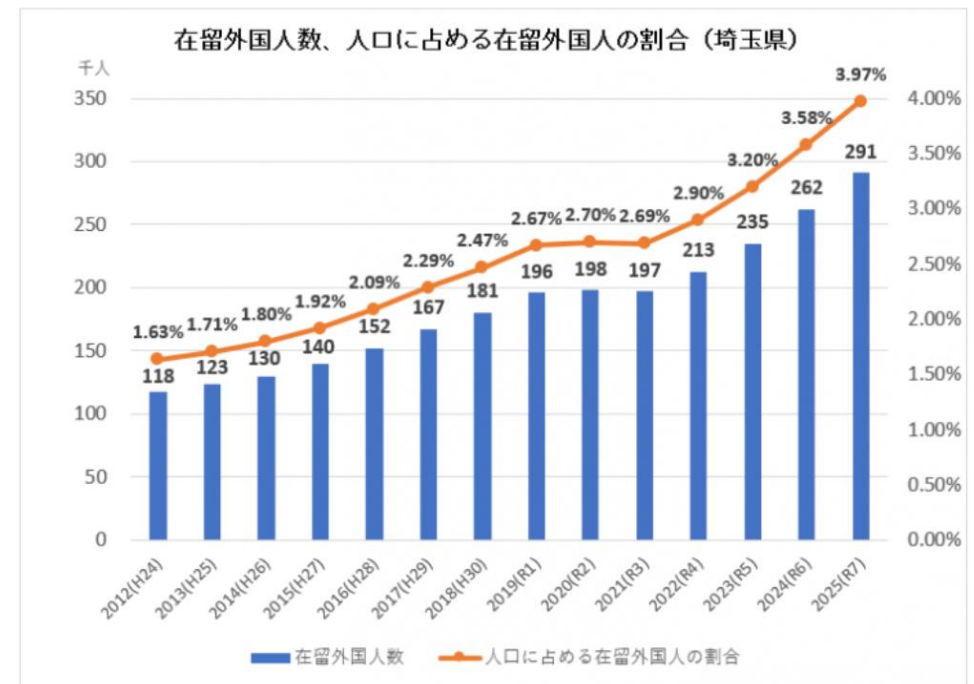
外国人労働者は13万3,049人で、前年より1万2,987人、10.8%増え、過去最多を更新した。

雇用事業所も1万9,780所で9.9%増加した。

在留資格別では専門的・技術的分野が3万6,983人、身分に基づく在留資格が3万6,869人、技能実習が2万4,032人だった。

技能実習は前年比8.3%増で、国籍別ではベトナムが3万6,942人と最多だった。

中国2万2,328人、フィリピン1万5,888人、ネパール1万3,939人が続いた。



埼玉に住む外国人住民の9割が 「暮らし満足」 治安、就労環境良く

2026.03.14

埼玉県が県内在住の外国人を対象に実施した意識調査で、生活に「満足」「どちらかといえば満足」と答えた割合は計92%となった。

調査は2025年11～12月に、大学生、会社員、技能実習生など1,064人を対象に行われた。

満足の理由では「治安がよく住みやすい」が69%と最も多く、就労環境の良さも挙げられた。

一方、不満の理由では外国人への差別を指摘する回答が目立った。

埼玉県に今後も住み続けたいとの回答は59%だった。

日本人との交流機会や日本語学習支援を求める意見も寄せられたが、有料記事のため本文は一部のみ確認した。

外国人住民が生活に満足している理由



※県の外国人住民意識調査から作成、複数回答可

外国人住民が生活に満足している理由

強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議発 「優良な送出機関等と県内企業とのマッチング会」

2026.03.16

埼玉県は、外国人材の採用に関心を持つ県内企業・業界団体と、優良な送出機関等を結ぶマッチング会を開催した。

送出機関は現地で人材募集・選考を行い、来日前の日本語教育や日本の生活ルール、職場マナーも指導する。会場では5団体が人材育成や紹介可能な職種、受入れまでの流れを説明した。

説明後には名刺交換と個別相談の時間を設け、企業が国別・職種別の条件を直接確認できるようにした。

会場はさいたま市中央区の新都心ビジネス交流プラザで、埼玉県産業振興公社が窓口を担った。

技能実習、特定技能等の採用経路を具体化する企業向け事業である。



出典：WORK IN SAITAMA（埼玉県）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/workinsaitama/company/event/027.html>

埼玉県外国人介護職員応援宣言

2026.04.22

埼玉県は、外国人介護職員が県内で長く働ける環境づくりを進める「応援宣言」を掲載した。

県内では介護分野の技能実習生や特定技能外国人が増えているが、在留期間や資格取得後のキャリア形成が課題となっている。

宣言に参加する事業所は、介護福祉士資格の取得、職場での意思疎通、精神面・生活面の支援、働きやすい環境整備に取り組む。

県は相談窓口、研修、補助制度を通じて事業者を支援する。

宣言文は日本語、英語、インドネシア語、ベトナム語で公開した。

在留資格「介護」への移行を含め、外国人職員の県内定着を促す取組である。



出典：埼玉県

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/gaikokujinukeire/sengen.html>

本学留学生支援の取り組みと 学長・教員のコメントが朝日新聞に掲載

2026.05.12

上尾市の聖学院大学は、外国人留学生の日本社会への定着を意識した教育内容と成果が朝日新聞に紹介されたと発表した。

同大学の「アカデミックジャパニーズ」では、中学・高校の教科書を用いて日本語の語彙力と表現力を高める。

「日本社会」の授業では、政治、福祉、文化を学び、専門科目への橋渡しを行う。

単なる日本語教育にとどまらず、地域や職場で必要となる社会的知識の習得を重視している。

大学は留学生の高い就職率や、卒業後に地域で働く人材が生まれている点を成果として示した。

教育機関が外国人材の就職・定着を支える県内事例である。



「埼玉県外国人留学生インターンシップ」 をスタートします！

2026.06.18

埼玉県は、外国人留学生の県内企業への就職を促すインターンシップ事業を2026年度に新設した。

県内企業約20社と、県内の4年制大学、大学院、短期大学に在籍する留学生約100人の参加を想定する。

実習は8月下旬から12月上旬に、1日から2週間の日程で行う。

事務局が企業と留学生の希望、専攻、職種、日本語能力を確認して個別にマッチングする。

企業には外国人材の受入れに関する相談支援も提供する。

留学生は所属大学のキャリアセンター等を通じて申し込み、県内企業への理解と就業後のミスマッチ防止につなげる。



出典：埼玉県

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0809/news/page/news2026061801.html>